



11/15（金） 支援2 現地調査
13:15-13:30 ①ー1
事業責任者等からの説明・質疑
応答（15分）に関するスライド

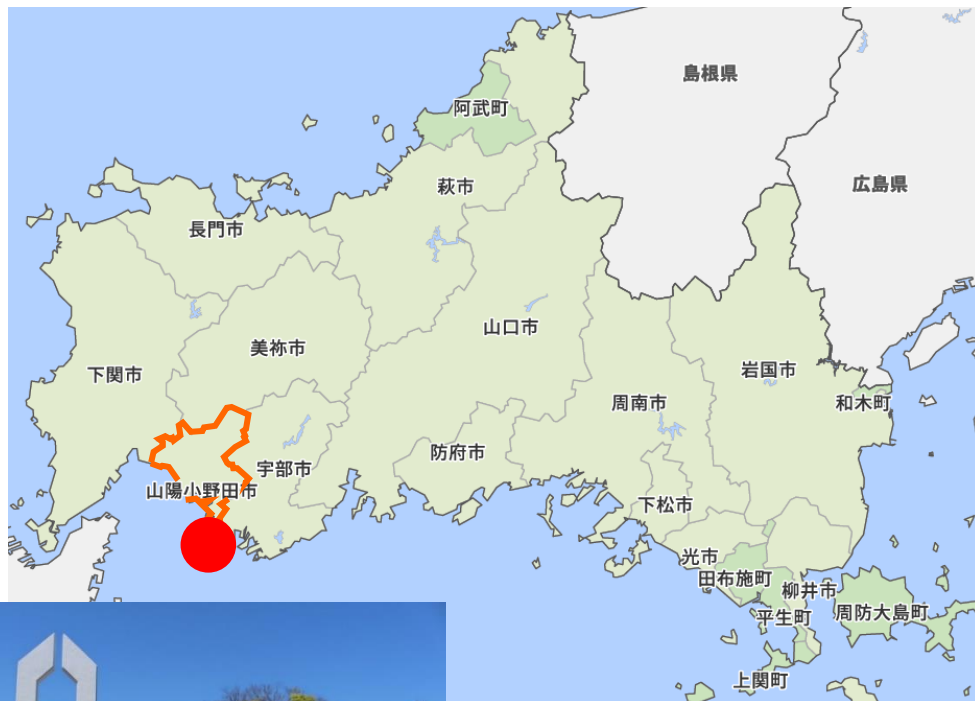
山陽小野田市立山口東京理科大学の 概要について



山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

令和6(2024)年11月15日

山陽小野田市立山口東京理科大学



山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

山陽小野田市：人口 **5万9,125人**
(令和6年3月末現在)





建学の精神

「理学の普及を以て

国運発展の基礎とする」

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学は、地方都市における落ち着いた教育環境のもと、学校法人東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、薬工系の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、地域に根差し、地域社会の発展に寄与する「地域のキーパーソン」の育成に貢献することを目的とします。

沿革

1987年 東京理科大学山口短期大学（公私協力方式）

1995年 山口東京理科大学（4年制大学）

1999年 大学院を設置

2016年 公立化し現在の名称となる

2018年 薬学部を設置（山口県初）（西日本公立初）

2023年 工学部 数理情報科学科を設置

2024年 工学研究科数理情報科学専攻を設置

工学部 医薬工学科を設置

薬学研究科薬学専攻を設置

基本理念

世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな人材の育成

波及効果の期待できる独創的・先進的研究の推進

教育・研究と地域貢献が一体化した生涯教育の充実

学生数

令和6年5月1日現在



学部・学科等		在学生数 (人)		
		合計 (入学定員)	男	女
工学部	機械工学科	268 (60)	249	19
	電気工学科	268 (60)	249	19
	応用化学科	316 (60)	184	132
	数理工学専攻	125 (60)	106	19
	医薬工学科	62 (60)	16	46
薬学部	薬学科	735 (120)	284	451
大学院	工学研究科 (工学専攻、 数理工学専攻)	60 (33)	53	7 【2】
	薬学研究科	6 (5)	3	3
合 計		1,840 (458)	1,144	696

【】内は数理工学専攻の学生数を示す

(令和6年5月1日現在)

教職員数



教 員 数

学部名	所属名	教授	准教授	講師	助教	助手	技能員	合 計
工学部	機械工学科	5	4	0	3	0	0	12
	電気工学科	4	1	3	2	0	0	10
	応用化学科	5	3	2	3	0	0	13
	数理情報科学科	5	3	2	0	0	0	10
	医薬工学科	7	2	1	0	0	0	10
薬学部	薬学科	19	9	9	6	0	0	43
共通教育センター		8	6	3	0	0	0	17
機械設計工作センター		0	0	0	0	0	2	2
合 計		53	28	20	14	0	2	117

事 務 職 員 数

所属名	専任職員	臨時職員	合 計
事 務 系	51	18	69
医 療 系	1	2	3
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	0	1	1
カ ウ ン セ ラ ー	0	4	4
合 計	52	25	77

事業概要(大学・高専機能強化支援事業 支援2)



Society5.0を具体化する高度情報専門人材を養成

改組内容：研究科等の設置・増員

情報系組織名：〈修士〉工学研究科数理情報科学専攻

〈博士〉工学研究科数理情報科学専攻

情報系組織の入学定員：〈修士〉【R6新設】改組後15名

〈博士〉【R8新設】改組後3名

所在地：山口県山陽小野田市

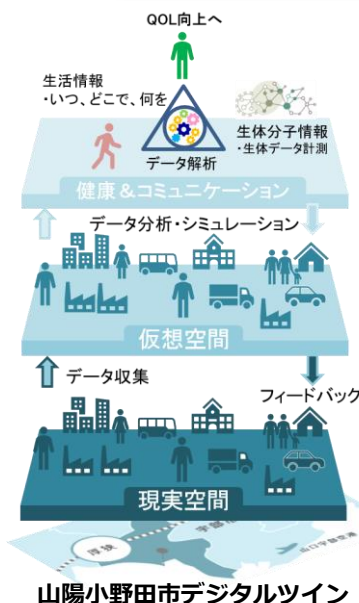


工学研究科 数理情報科学専攻

成長分野を牽引するデータサイエンティストを育成

＜数理情報科学専攻の教育＞

- ・数物理学を基礎とし最先端技術へと繋がる**情報科学を工学・薬学・医学と連携・融合**させ、様々なデータを活用した新たな産業へと繋がるデジタル社会をリードする人材を育成
- ・4つの分野から**主専攻と副専攻を選択**可能とし、複雑化する現象を横断的に俯瞰し課題を解決する「総合知」を育む
- ・学部との6年一貫コースを併設するとともに、オンラインを活用した**社会人教育プログラム**を編成
- ・実務家教員は、「先端人工知能論」、「応用生命情報学」、「データサイエンス創薬」、「エージェントシステム論」、「カテゴリカルデータ解析特論」等の授業科目を展開
- ・人材ニーズを踏まえ、地域産業に対応した特別研究を必修とし、**課題解決に挑戦する実践的なプログラム**を提供
- ・スタートアップからスケールアップに繋ぐことができる**アントレプレナーを発揮する**人材を養成
- ・企業や自治体との連携の下「**DX協創プラットフォーム**」を設置しており、物理空間(現実世界)に実在する地方都市の山陽小野田市を、仮想空間(バーチャル世界)で再現する「**デジタルツインDX・AI教育**」に取り組む



山陽小野田市デジタルツイン

工学研究科 数理情報科学専攻

数理システム
科学

生命・医療
システム科学

情報システム
科学

知能・認知
科学



ベーシック・コース (社会人向け教育プログラム)

アドバンス・コース (進学する学生向けプログラム)

○教育研究環境の整備計画 (令和5年度から令和8年度)

- ・**AI、RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) 等の企業や研究所で勤務経験のある実務教員をクロスアポイントメント制度を活用して配置**
- ・学生の「**デザイン思考**」を促すスペースを整備するとともに、自治体、産業界、研究者など学内外のプレイヤーが対面やオンラインを通じ自由に集い交流する「**イノベーション・commons**」を整備する。

赤字：審査において「特筆すべき内容」と評価された点

山陽小野田市立山口東京理科大学

工学部と薬学部を設置する全国唯一の公立大学

この特徴を活かし、デジタル×工学×薬学が融合したデータサイエンス教育を扱う新学科「工学部数理情報科学科」を2023年4月設置しました。地域のイノベーション・活性化に貢献するため、2024年4月に数理情報科学専攻を設置します。



山口県山陽小野田市

デジタル・AI・DXを駆使してイノベーションを創出

本日も案内する教育現場・施設等



時間	場所	内容	備考
13:30 ～13:40	7号館 ゼミ室1	授業説明	説明： 福井教授
13:40 ～13:50	7号館 ゼミ室3	授業視察 「生体高分子構造学」	授業担当： 末永教授
13:50 ～14:20	10号館	新校舎（10号館サーバー 室・非常用電源装置）	案内： 管財部長
14:20 ～14:30	7号館	デザインシンキング・ス ペース	案内： 管財部長

キャンパスマップ



Campus Map

キャンパスマップ

- | | | |
|-----------|----------|-----------------|
| ① 1号館 | ⑩ 第1食堂 | ⑩ デザインシンキングスペース |
| ② 2号館 | ⑪ 第2食堂 | ⑪ 保健管理センター |
| ③ 3号館 | ⑫ きらきら食堂 | ⑫ 客員宿舎 |
| ④ 4号館 | ⑬ 体育館 | ⑬ 売店 |
| ⑤ 5号館 | ⑭ 学生寮 | ⑭ グラウンド |
| ⑥ 6号館 | ⑮ 図書館 | |
| ⑦ 7号館 | | |
| ⑧ 8号館 | | |
| ⑨ 多目的文化施設 | | |

10号館

現在地





11/15（金） 支援2 現地調査
15:20-16:05 ①ー2
事業責任者等からの説明・質疑
応答（45分）に関するスライド

事業責任者等からの説明・質疑応答



山陽小野田市立

山口東京理科大学

Sanyo-Onoda City University

令和6(2024)年11月15日

事業概要(大学・高専機能強化支援事業 支援2)



Society5.0を具体化する高度情報専門人材を養成

改組内容：研究科等の設置・増員

情報系組織名：＜修士＞ 工学研究科数理情報科学専攻

＜博士＞ 工学研究科数理情報科学専攻

情報系組織の入学定員：＜修士＞【R6新設】改組後15名

＜博士＞【R8新設】改組後3名

所在地：山口県山陽小野田市

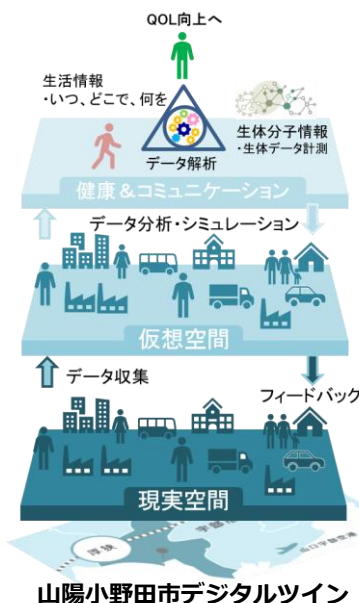


工学研究科 数理情報科学専攻

成長分野を牽引するデータサイエンティストを育成

＜数理情報科学専攻の教育＞

- ・数物理学を基礎とし最先端技術へと繋がる**情報科学を工学・薬学・医学と連携・融合**させ、様々なデータを活用した新たな産業へと繋がるデジタル社会をリードする人材を育成
- ・4つの分野から**主専攻と副専攻を選択**可能とし、複雑化する現象を横断的に俯瞰し課題を解決する「総合知」を育む
- ・学部との6年一貫コースを併設するとともに、オンラインを活用した**社会人教育プログラム**を編成
- ・実務家教員は、「先端人工知能論」、「応用生命情報学」、「データサイエンス創薬」、「エージェントシステム論」、「カテゴリカルデータ解析特論」等の授業科目を展開
- ・人材ニーズを踏まえ、地域産業に対応した特別研究を必修とし、**課題解決に挑戦する実践的なプログラム**を提供
- ・スタートアップからスケールアップに繋ぐことができる**アントレプレナーを発揮する**人材を養成
- ・企業や自治体との連携の下「**DX協創プラットフォーム**」を設置しており、物理空間(現実世界)に実在する地方都市の山陽小野田市を、仮想空間(バーチャル世界)で再現する「**デジタルツインDX・AI教育**」に取り組む



山陽小野田市デジタルツイン

工学研究科 数理情報科学専攻

数理システム
科学

生命・医療
システム科学

情報システム
科学

知能・認知
科学



ベーシック・コース (社会人向け教育プログラム)

アドバンス・コース (進学する学生向けプログラム)

○教育研究環境の整備計画 (令和5年度から令和8年度)

- ・**AI、RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) 等の企業や研究所で勤務経験のある実務教員をクロスアポイントメント制度を活用して配置**
- ・学生の「**デザイン思考**」を促すスペースを整備するとともに、自治体、産業界、研究者など学内外のプレイヤーが対面やオンラインを通じ自由に集い交流する「**イノベーション・commons**」を整備する。

赤字：審査において「特筆すべき内容」と評価された点

山陽小野田市立山口東京理科大学

工学部と薬学部を設置する全国唯一の公立大学

この特徴を活かし、デジタル×工学×薬学が融合したデータサイエンス教育を扱う新学科「工学部数理情報科学科」を2023年4月設置しました。地域のイノベーション・活性化に貢献するため、2024年4月に数理情報科学専攻を設置します。



山口県山陽小野田市

デジタル・AI・DXを駆使してイノベーションを創出



- ①学生確保の状況
(多様な入学者確保のための実施体制など)
- ②教員確保の状況
(実務経験のある教員についての採用基準の有無やFDの実施状況など)
- ③外部機関との連携状況
(具体的な実施内容・取組内容など)
- ④施設・設備の整備状況等
(情報環境の整備状況など)

進捗状況①学生確保の状況



(多様な入学者確保のための実施体制など)

◆入学者数の状況

入試区分		募集人員	R 6 年度入試	R 7 年度入試
推薦入試	一般枠	6	0	1
	女子枠	2	2	1
一般入試	前 期	7	0	1
	後 期		0	2/15試験
社会人特別選抜	前 期	若干名	0	0
	後 期	若干名	0	2/15試験
外国人留学生選抜		若干名	0	2/15試験
計		1 5	2	3

◆募集活動の反省点（令和 5 年度）

- 1) 10月から募集活動を開始したため、十分なPRが出来なかった。
- 2) データサイエンスは高い人気があると思い、企業訪問や説明会を十分に実施しなかったため地域社会に浸透しなかった。
- 3) マーケティング戦略が十分ではなかった。
- 4) 他学科学生の志願者を期待したが希望者がいなかった。
- 5) 社会人が大学院へ進学する経済的障壁があった。
- 6) 外国人留学生への周知が十分ではなかった。

進捗状況①学生確保の状況



◆参考 学生確保のための広報活動（令和5年度 実績）

日付	内容
令和5年7月24日	設置届出書類の提出完了
令和5年9月20日	文部科学大臣から届出が受理の報告
令和5年10月18日	専攻の設置に関する記者会見
令和5年10月20日	推薦入試出願開始（～11月1日（水））
令和5年11月14日	前任校の卒業生へ紹介（～15日）
令和5年11月24日	外国人留学生 大学・専門学校 進学フェアへ出展（～25日）
令和5年12月19日	パンフレット・リーフレット・特設サイト等完成
令和5年12月20日	企業団体Aを通じて会員企業へ案内
令和5年12月20日	市内事業所へパンフレット等を郵送にて案内
令和5年12月20日	他大学へパンフレット等を郵送にて案内
令和5年12月20日	金融機関Bを訪問して案内
令和6年1月6日	オンライン入試相談会の開催（1/6～2/2）※参加者無し
令和6年1月11日	金融機関Bグループへオンラインで案内
令和6年1月29日	一般・社会人入試前期出願開始（～2月2日（金））
令和6年2月1日	民間企業Cを訪問して案内
令和6年2月22日	一般・社会人入試後期出願開始（～2月28日（水））

進捗状況①学生確保の状況



◆改善策（令和6年度以降）

- 1) 令和8年度入試は、入学者確保数を推薦入試・一般入試15名を3名、社会人特別選抜若干名を12名に変更して募集する（入学定員変更なし）。
- 2) 一般入試及び社会人特別選抜の前期日程を意識し、早期の広報活動を実施する。
- 3) 入試広報戦略で「志願者や入学者確保数」の目標を設定し、「市場調査と分析」をした上で「ターゲットの絞り込み」を行い、「社会人対象の説明会」、「企業訪問」、「在校生対象の説明会」を実施する。
- 4) **社会人向け**広報活動
 - ①大学院入学金半額免除制度における対象者の拡充（市内に事業所のある法人及び包括的連携協定締結法人を対象に加える）。
 - ②社会人向けに給付型奨学金制度を導入する。
 - ③社会人向けの学びやすい環境（対面・オンライン・オンデマンドを選択可とするハイフレックス型講義、従事する業務に関連した研究課題）を周知する。
 - ④より多くの社会人学生の志願者や入学者の増加を図るため、企業訪問や相談会を年3回以上開催する。
- 5) **留学生向け**広報活動：日本語学校訪問や留学生向け進学相談会へ参加する。
- 6) **大学生向け**広報活動：本学工学部他学科及び他大学の学生に周知を行う。

進捗状況①学生確保の状況



【1】社会人向け 広報活動（令和6年10月末時点）

- 1) 社会人向けリーフレットを300部作成し、企業訪問等の実施
- 2) 社会人向けホームページの開設
- 3) 企業訪問等による広報活動

① 訪問活動

- ・ 市内事業所を中心に25事業所（県内の大手企業、県庁、大規模病院、市役所等）
- ・ 高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）の採択高校 5校

② メール等による各種広報

- ・ 企業団体Dのホームページに大学院説明会の案内を掲載し、会員企業215事業所へメールにて同案内を行った。

③ 関係機関の会報に記載

- ・ 山陽商工会議所8月号会報に、大学院説明会の案内を掲載した。
- ・ 小野田商工会議所及び山陽商工会議所9月号会報に、数理情報科学専攻の紹介記事を掲載した。

4) 社会人向け大学院説明会の開催

大学院の特徴、研究室紹介、在学生による授業紹介、入試概要及び新たな給付型奨学金制度に関する説会を対面・オンラインのハイブリッド形式で開催し33名が参加した。

- ①令和6年8月4日（日）開催 参加者：会場参加 3名、オンライン参加 5名
- ②令和6年9月6日（金）開催 参加者：会場参加10名、オンライン参加15名



【2】社会人向け 広報活動（今後の活動）

1) 企業訪問等による広報活動

① 訪問活動

- ・ 卒業生が多い県内事業所を中心に訪問予定（県内の大手企業、情報系企業等）

② メール等による各種広報

- ・ 企業団体A、企業団体D等の会員企業へメールにて周知
- ・ 山陽小野田市人事課を通じて市職員に周知

③ 市報掲載

- ・ 山陽小野田市報：「広報さんようおのだ」の12月号に社会人向け大学院説明会の情報を掲載（予定）

2) 社会人向け大学院説明会の開催

大学院の概要、入試対策、給付奨学金制度に関する説明を対面・オンラインのハイブリッド形式で開催する。

① 令和6年12月4日（水）開催予定

進捗状況①学生確保の状況



【3】留学生向け 広報活動（令和6年10月末時点）

1) 留学生向けパンフレットの制作

留学生向けに本学を紹介するパンフレットを制作し、留学生向け進学説明会や日本語学校訪問時に配布を行った。

2) 留学生向け進学説明会への出展

外国人学生向けの進学説明会に出展し、本学及び大学院の周知を行った。

① 令和6年6月28日（金）：第1回外国人留学生就職・進学フェア
（外国新総合支援ワールド実行委員会）

② 令和6年6月29日（土）：2024年度外国人学生のための進学説明会
（日本学生支援機構主催）

3) 日本語学校への訪問

本学への志願実績や留学生の多い日本語学校7校を訪問し、大学院の周知を行った。

【4】留学生向け 広報活動（今後の活動）

1) 日本語学校への訪問

本学への志願実績や留学生の多い日本語学校を訪問し、大学院の周知を図る。

進捗状況①学生確保の状況



【5】大学生向け 広報活動（令和6年10月末時点）

1) 学生への説明会の開催

本学4年生に向け、本学大学院への進学ガイダンスを開催した。

また、数理情報科学専攻を希望する学生に対しては個別相談を行った。

・大学院への進学ガイダンス 令和6年6月14日（金）約30名参加

【6】大学生向け 広報活動（今後の活動）

1) 他大学への広報

工学系・情報系を有する私立大学等へ本学大学院のパンフレット及び数理情報科学専攻の入試要項等を送付して周知を図る。

2) 大学生向け大学院説明会の開催

大学院の特徴、入試概要等に関する説明会をオンライン形式で開催する。

・令和6年12月中旬開催予定

◆実施体制について

学長のリーダーシップの下、入試担当学長補佐を配置するとともに、研究科長および同専攻の研究科幹事を中心に、入試広報活動を企画し行っている。

進捗状況②教員確保の状況



(実務経験のある教員についての採用基準の有無やF Dの実施状況など)

◆数理情報科学専攻 教員一覧

氏名	職位	学位	授業科目	実務経験
教員A	教授	Ph.D	地方創生デジタル演習、データサイエンス創薬、医療情報学特論	研究所、国外研究所
教員B	教授	Ph.D	アルゴリズム特論、エージェントシステム論	民間企業
教員C	教授	博士（学術）	知能情報処理特論、先端人工知能論	民間企業
教員D	教授	博士（工学）	生体高分子構造学、データサイエンス創薬	研究所
教員E	教授	博士（情報科学）	ビジュアルコンピューティング論、デジタル形状処理特	なし
教員F	准教授	博士（学術）	プログラミング言語論、対話システム論	民間企業
教員G	准教授	博士（理学）	応用生命情報学、生体高分子構造学	研究所
教員H	准教授	博士（理学）	実社会課題データ分析論、最適化数学特論	なし
教員I	講師	Ph.D	量子情報理論、力学系特論	国外研究所
教員J	講師	博士（理学）	カテゴリーカルデータ解析特論、現代数理統計応用論	なし

上記全教員で数理情報科学特別講義、特別実験

本学の採用基準に基づき現在2名を公募しています。

進捗状況②教員確保の状況



◆ FDの実施状況 （令和6年度実績）

No.	内容
1	新任教員を対象にFD委員による授業観察を実施
2	新任教員向けガイダンスにてシラバスの作成方法や採点基準等の指導
3	FD委員会にて「新任教員のためのテスト作成の手引き」を作成し配付
4	FD研修「キャンパスハラスメントの防止について」
5	FD研修「大学教育の意義を踏まえた教授法の実践」
6	FD研修「授業デザインの基礎知識」
7	FD研修「AIツールとの付き合い方」



進捗状況③外部機関との連携状況

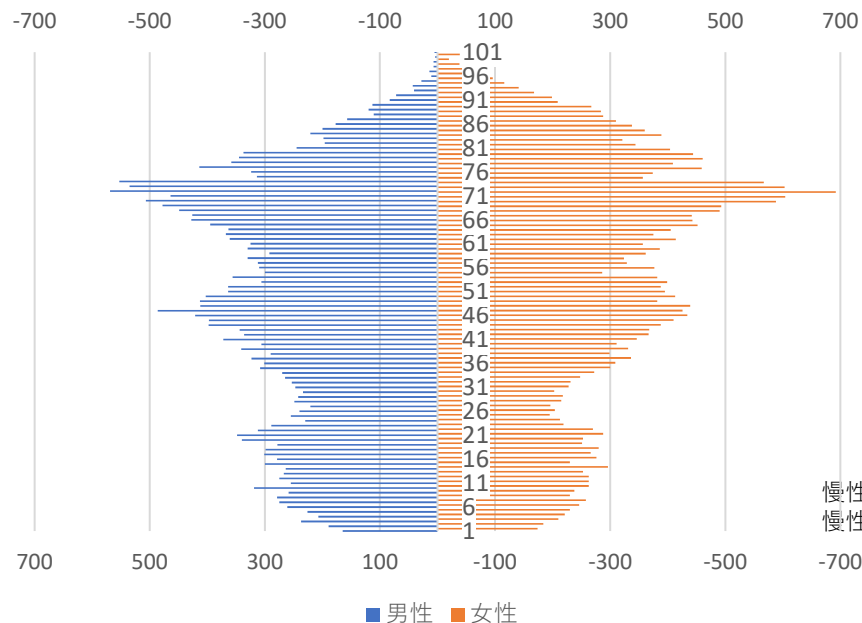


(具体的な実施内容・取組内容など)

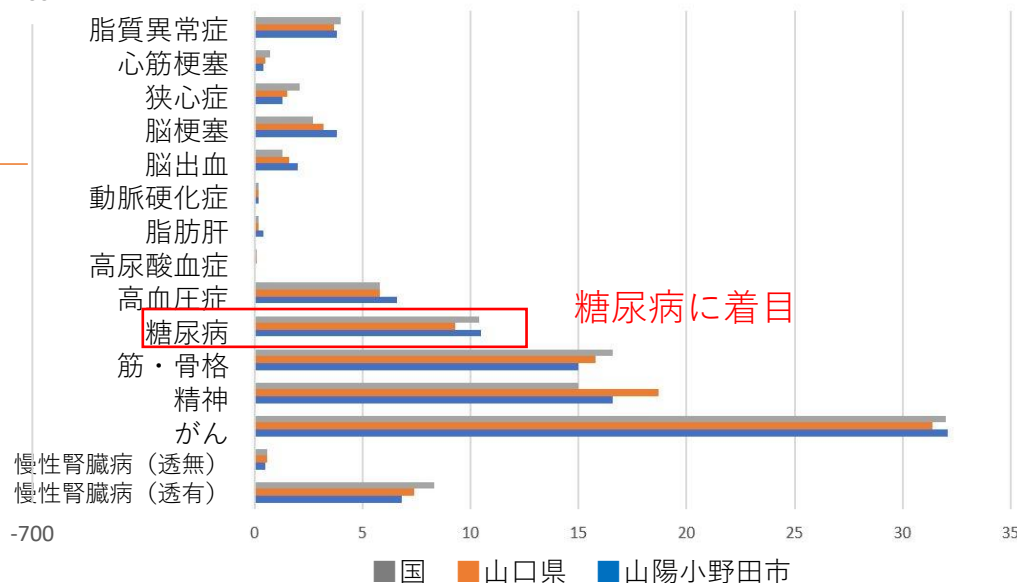
【1】スマートシティ・データ連携基盤構築事業 (自治体や企業等と連携した取組)

山陽小野田市における健康デジタルツイン構築に向け、地域連携・生涯学習課を窓口として、国保データベース(KDB)関連のデータ提供を山陽小野田市デジタル推進課に依頼し、山陽小野田市との連携事業としてデータ分析を開始しました。
糖尿病に着目し食事管理アプリの開発を進めています。

R4年山陽小野田市人口分布



医療費割合



糖尿病に着目

進捗状況③外部機関との連携状況

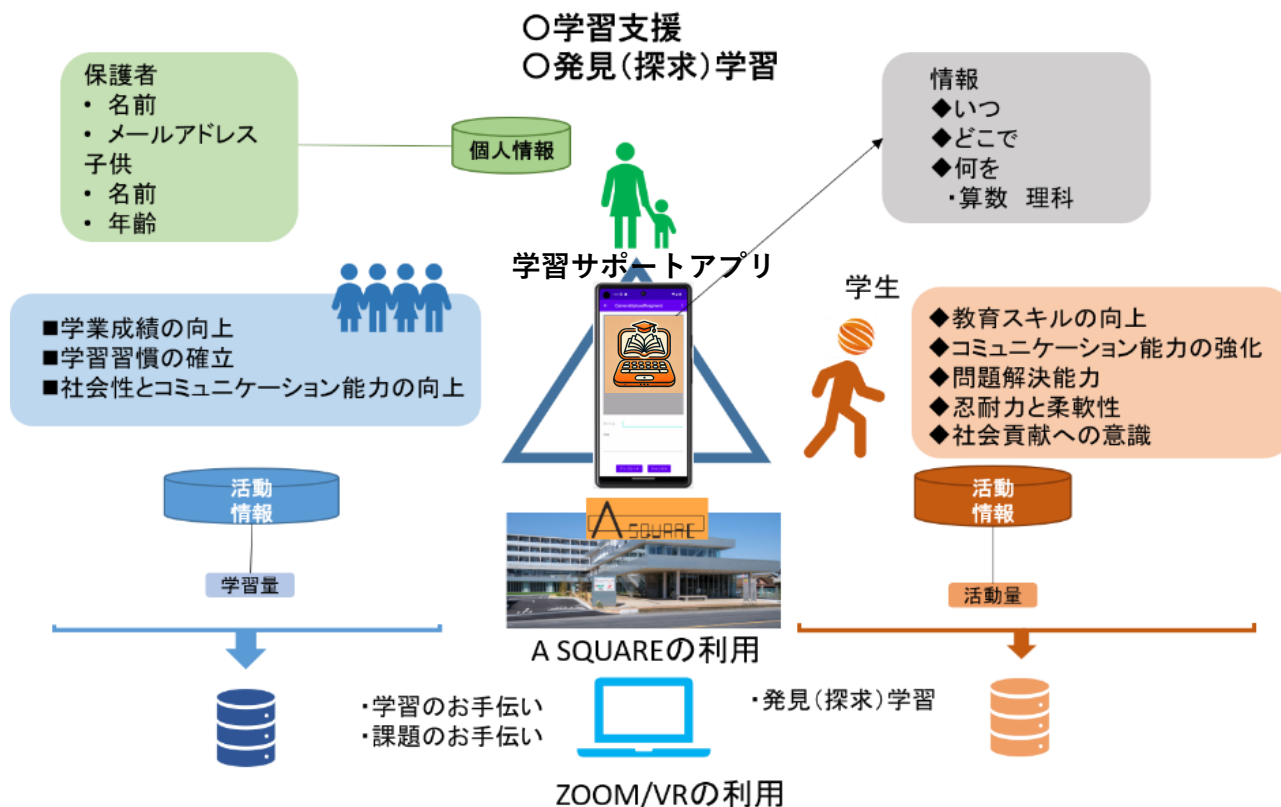


【2】初等中等教育段階の学校との連携事業

山陽小野田市との連携事業として市の教育委員会に協力を依頼しています。**小学生を対象としたデジタル教育「DX学習サポート」**を提案し、そのモデル事業として、複合施設Aスクエア 近隣小学校を対象に、令和7年度よりプレ実証を行う計画です。児童の学習量や学生の活動量を管理する**学習サポートアプリを開発**しています。



学習サポートアプリの
ロゴマーク



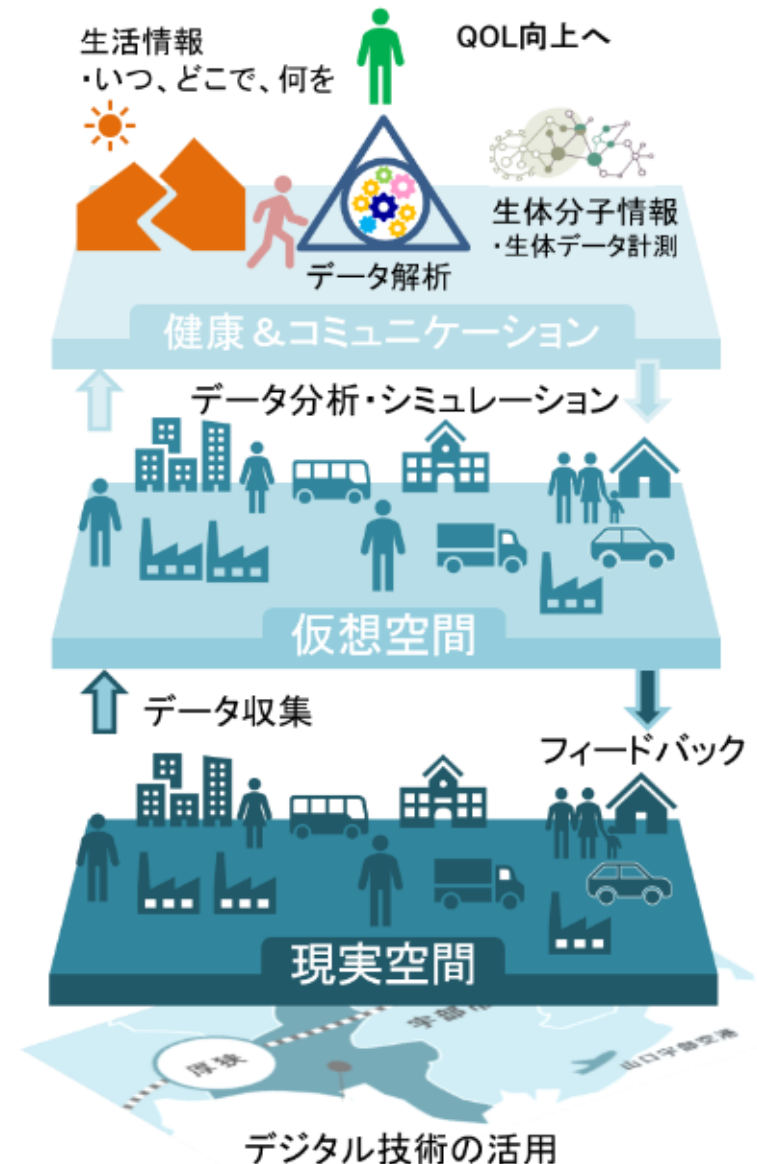
進捗状況③外部機関との連携状況



【3】デジタルツイン・オープンプラットフォーム構築事業

山陽小野田市デジタル推進課と協力し「まちなかデジタル」の活動として、仮想空間を利用した環境におけるAI教育に向けて、参加アプリやVR環境のプロトタイプを作成中です。

山陽小野田市をまるごと仮想空間上に再現することにより、これまで現実空間での実証実験で多額の予算が費やしていたものが、**仮想空間でシミュレーションやデータ分析**を行うことで大幅な費用を抑えられ、現実空間へ施策の反映が図れる取組みです。



進捗状況④施設・設備の整備状況等



◆ 10号館の整備状況について



サーバー室の状況



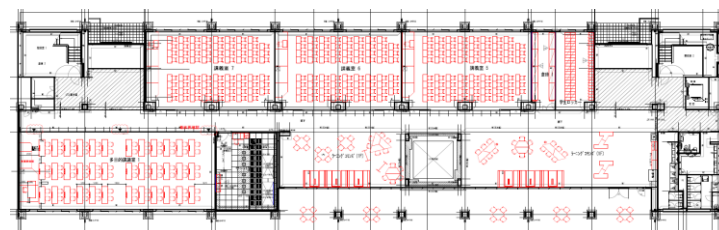
発電機基礎工事の状況

新校舎10号館は2025年2月完成予定です。
教育研究環境を整備するため、遠隔教育に
向けた情報機器やデータ保存用情報機器等
の調達を進めております。

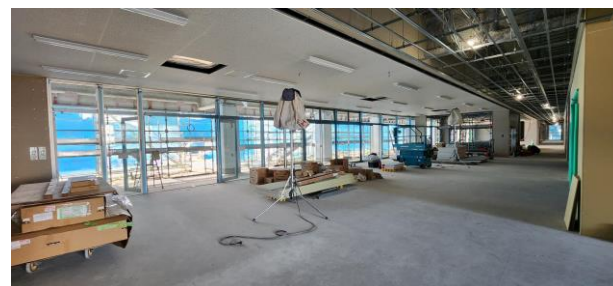
(情報環境の整備状況など)



10号館 外観イメージ



10号館 平面図（1階）



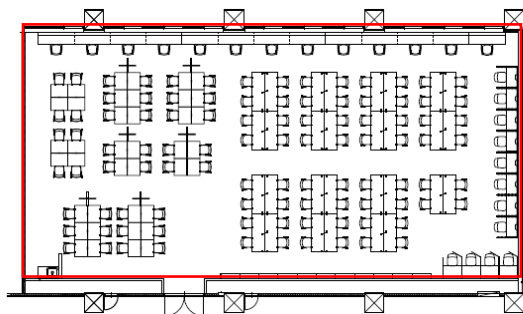
10号館内装工事の様子

進捗状況④施設・設備の整備状況等



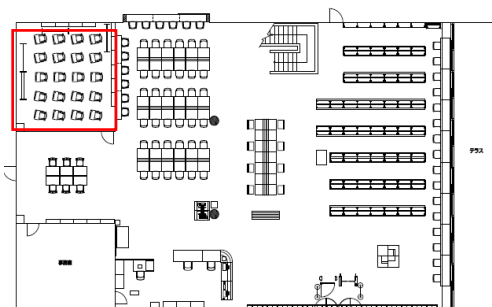
◆デザインシンキングスペース

- ・数理情報科学のデータサイエンスを中心に工学と薬学の学生や教職員が交流し、分野を越えた融合教育・研究活動の拠点として、デザインシンキングスペースを整備しました。
- ・7号館は、ブレインストーミングやグループワークができるエリアと、個人で集中できるブース席エリアがあり、用途に合わせて利用できます。
また、5号館図書館の一室を改修し自由にディスカッションできるスペースとしました。
- ・授業や共同研究に活用するとともに、学生・研究者・社会人の人材交流を活性化させ、問題解決に繋がるデザイン思考を促し、学際なデータサイエンス拠点を目指します。



7号館デザインシンキングスペース図面

デザインシンキング
スペースに改修

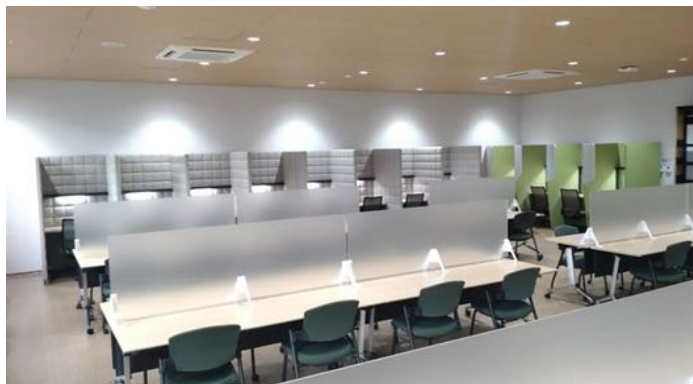


5号館 図書館 図面

進捗状況④施設・設備の整備状況等



◆デザインシンキングスペース写真



7号館



5号館



事前質問

質問1 選定時に事業計画において特筆すべき内容と評価された点について、その取組状況を説明してください。

質問2 現在、把握している事業の成果があれば、説明してください。

質問3 令和6年度入学において入学定員が未充足の状況となっているが、その改善方策及び対応状況について、説明してください。

事前質問に対する回答：質問ⅠーⅠ



選定時に事業計画において特筆すべき内容と評価された点について、その取組状況を説明してください。

特筆すべき内容と評価された点

○申請要件⑤

実務経験のある教員が7割を占める体制により、実践形式の課題解決型学習（PBL）を行う効果的な計画や、AI やRPA 等を専門とする企業や研究所からクロスアポイントメント制度を活用して教員を招へいする具体的な計画を策定している点を評価。

氏名	職位	学位	授業科目	実務経験
教員A	教授	Ph.D	地方創生デジタル演習、データサイエンス創薬、医療情報学特論	研究所、国外研究所
教員B	教授	Ph.D	アルゴリズム特論、エージェントシステム論	民間企業
教員C	教授	博士（学術）	知能情報処理特論、先端人工知能論	民間企業
教員D	教授	博士（工学）	生体高分子構造学、データサイエンス創薬	研究所
教員E	教授	博士（情報科学）	ビジュアルコンピューティング論、デジタル形状処理特	なし
教員F	准教授	博士（学術）	プログラミング言語論、対話システム論	民間企業
教員G	准教授	博士（理学）	応用生命情報学、生体高分子構造学	研究所
教員H	准教授	博士（理学）	実社会課題データ分析論、最適化数学特論	なし
教員I	講師	Ph.D	量子情報理論、力学系特論	国外研究所
教員J	講師	博士（理学）	カテゴリーカルデータ解析特論、現代数理統計応用論	なし

上記全教員で数理情報科学特別講義、特別研究

研究・教育を充実させるためにさらに教員2名を公募しています。

事前質問に対する回答：質問１－２



選定時に事業計画において特筆すべき内容と評価された点について、その取組状況を説明してください。

特筆すべき内容と評価された点

○申請要件⑤

実務経験のある教員が7割を占める体制により、**実践形式の課題解決型学習(PBL)**を行う**効果的な計画**や、AI やRPA 等を専門とする企業や研究所からクロスアポイントメント制度を活用して教員を招へいする具体的な計画を策定している点を評価。

大学院授業科目「**地方創生デジタル演習**」において、山陽小野田市と協力し**国保データベース関連のデータ**を提供してもらい、学生が健康寿命の延伸に繋がる**データ解析**に取り組んでいます。

データの収集及び解析により、地域における独自の社会課題や自分と地域との接点を意識し、**社会問題を自分で考え**、実際の行動へとつなげることを通して、**社会人基礎力を身に付ける**ことを目的としています。

事前質問に対する回答：質問 1-3



選定時に事業計画において特筆すべき内容と評価された点について、その取組状況を説明してください。

特筆すべき内容と評価された点

○申請要件⑤

実務経験のある教員が7割を占める体制により、実践形式の課題解決型学習（PBL）を行う効果的な計画や、AI やRPA 等を専門とする企業や研究所からクロスアポイントメント制度を活用して教員を招へいする具体的な計画を策定している点を評価。

○対象教員：数理情報科学専攻 教授 1名

○専門分野：ソフトウェア工学、特に形式的検証技術とその応用

○クロスアポイントメント協定先：民間企業

○事業内容：コンサルティング、システム構築、運用、
サポートサービス、ハードウェア(サーバ等)

○協定期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

企業でソフトウェアシステムの研究開発に従事しており、その業務で養った経験を活かし、授業科目「先端人工知能論等」において、意思決定のための問題解決法やアルゴリズムに関する実用上重要な内容を講義しています。

事前質問に対する回答：質問2



現在、把握している事業の成果があれば、説明してください。

令和6年4月に大学院 数理情報科学科専攻を新設しました。
以下の事項を進めております。

【1】特色ある教育プログラム

- ①高度情報人材を育成
数物理学を基礎とし最先端技術へと繋がる情報科学を工学・薬学・医学と連携・融合させ、**デジタル社会をリードする高度情報専門人材**を育成しています。
- ②**メジャー・マイナー制**
高度な専門知識に加え、横断的に物事を俯瞰できる能力を養成しています。
- ③**地域の課題解決**
地域や行政の協力を得て、情報技術を活用した**地域課題解決型**の教育を行います。
- ④**社会人向けリカレント**
社会人の多様なニーズに対応した教育プログラムを編成しています。

デジタル技術を駆使し、新しい価値を生み出す人材を育む。

Department of Informatics and Data Science

事前質問に対する回答：質問2



現在、把握している事業の成果があれば、説明してください。

【2】他機関と連携したDX人材育成

①大学発ベンチャー支援体制

- ・東京理科大学や関連ベンチャーキャピタルとの包括連携協定を締結しました。大学ベンチャー創出の支援体制構築や、アントレプレナーシップ教育に取り組みます。

②金融機関との連携

- ・金融機関Bグループとの人材交流に関する包括連携を検討しています。社会人学生を受け入れるとともに、インターンシップ等で相互に交流し、地域のDX人材を育成して参ります。

③LABV方式を活用したDX拠点

- ・山陽小野田市はLABV（官民協働開発事業体）方式を利用し学生寮を含む複合施設Aスクエアを整備しました。続いてサテライトキャンパスを含む新たなDX拠点を検討しています。

④山陽小野田市デジタルツイン構想

- ・山陽小野田市との連携の下、地域の様々なデータを収集し仮想空間に再現し、分析やシミュレーションすることで、新しい価値を生み出し、地域の課題解決に貢献します。



東京理科大学との包括連携協定



複合施設 Aスクエア

事前質問に対する回答：質問2



現在、把握している事業の成果があれば、説明してください。

【3】教育研究の環境の充実



10号館



ラーニングコモンズ

引き続き研究室等の環境整備を進めてまいります。



デザインシンキング
スペース



学生寮（Aスクエア内）

事前質問に対する回答：質問3



令和6年度入学において入学定員が未充足の状況となっているが、その改善方策及び対応状況について、説明してください。

【現状分析】

○入学定員が未充足となった原因：募集開始が遅れたため、他大学や社会人などへの周知が十分にできなかった。

【改善方策および対応状況】

①社会人、大学生、留学生とターゲットの絞り込みを行い、広報活動を実施

②社会人が大学院へ進学する経済的障壁を下げるための施策展開

- ・大学院入学金半額免除制度の拡充
- ・給付型奨学金制度の導入

③社会人対象の広報活動

- ・リーフレット及びウェブサイトの作成
- ・企業等訪問、県内企業への広報
- ・大学院説明会の開催

④留学生対象の広報活動

- ・外国人留学生向け進学相談会への参加
- ・日本語学校への訪問

⑤大学生対象の広報

- ・本学学生及び他大学への広報
- ・大学院説明会の開催

令和6年10月末現在 **計3名が入学予定**
推薦入試

受験者2名 内定者2名（うち女子枠1名）
一般入試（前期）

志願者1名 内定者1名

一般入試（後期） 2月実施予定

引き続き定員充足を図ってまいります。

きらりと**光る**大学をめざして



ご清聴ありがとうございました。



山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University



公式ホームページ



Instagram



LINE